

ながとじん 長門人

何事も「努力」

—熱血。新鮮力—



重原宏紀さん

しげはらひろき／昭和57年1月29日生／
上郷区／クロセ(株)

※仕事は 港湾関係の堤防を作っています。型枠を設置しコンクリートを流し込み波返しにする仕事です。始めは結構きついなと思いましたが、大分慣れ、先輩が親切なので、今は結構楽しいです。

※趣味は 高校時代やっていたバスケットボールと、釣りです。特に釣りは好きで休みになると、親戚のおじさんとよく通方面へ磯釣りに出かけます。今からはスズキですね。

※気をつけている事は 挨拶をよくすること、先輩の言葉をよく聞くことです。

※好きな言葉は 「努力」何事も努力すれば、叶うものと思っています。



※結婚は まだ、考えていませんが27歳までにはしたいですね。結婚するなら明るくて面白い人、芸能人と言えば、遠藤久美子さんです。

※自由に一言 町で見かけたら、気軽に声をかけてください。



坂倉和人さん

さくらかずと／昭和44年3月14日生／
三ノ瀬区／陶芸家

「新屋坂倉家」の窯65年ぶり復活

—ちよつと小耳に—

「今月中（4月下旬）には、工房を開きます。場所は、湯本駐在所の前です」と語る坂倉さん。これまで廃業となっていた名門「新屋坂倉家」の窯が、65年ぶりに16代目にあたる坂倉和人さんにより再興されました。

和人さんは、神戸芸術工科大学卒業後、岐阜県多治見市で陶芸の修行を5年間され、このたび故郷長門で開窯の運びとなりました。

現在、開店に向けて作品作り真っ最中で、1日50〜100個の酒器や日用食器の製作に取り組んでおられ、工房内には独自の感性を生かした陶器類が、所狭しと並んでいます。

「一つの作品が出来上がるの



▲工房で製作に取り組む和人さん

に、小さい物でも約2週間程度かかります。一つ一つ、少しでも納得のいくものを作り続けていきたい。陶芸に興味のある方は、いつでもお尋ねください」と言われました。なお、作品についてのお問い合わせは、☎054401坂倉まで。